

Focus

—番外編—

災害ボランティア体験記

下呂市役所 秘書広報課 向田華奈子



▲浸水した部屋の床下を掃除中



▲小坂体育館前でボランティア受付開始



▲床下の掃除が完了



▲泥のついた箇所を水で流す

7月16日、7月豪雨により被害を受けた小坂地域のボランティア活動に参加しました。下呂市社会福祉協議会がボランティアセンターを開設しており、この日は約30名の参加がありました。受付を済ませると、数人ずつのチームに分かれ受け入れ先の家に向かいます。

私が伺いしたお宅は、豪雨により家の隣を流れる沢が氾濫し、家屋に浸水する被害がありました。浸水した部屋の床下を掃除する作業を担当しましたが、泥が多く狭い空間のため思うようには進みません。その分、終わった時の達成感は大きかったです。マスクや手袋が必須なので非常に暑かったです。受け入れ先や社会福祉協議会が冷たい飲み物やタオルを用意してくれたので快適に過ごせました。

ボランティアには市内全域から参加がありました。話を聞くと「小坂地域にはお世話になった方が多いので、何かしたかった」「女性でもできることがある。困った時はお互いさま」といった意見がありました。実際にボランティアの力で復旧が進み、地域の皆さんから感謝されました。人のためを思って行動することの温かさを感じた1日でした。

下呂市
LINE公式アカウントはじめました！



LINEで下呂市メールが受信できるようになりました！

LINEの友だち追加からID検索またはQRをスキャンしてしてください！

ID検索 @gerocity



COVER —今月の表紙—



7月6日からの大雨により、大きな被害を受けた小坂地域では、市民によるボランティア活動が連日行われました。表紙は、人と人をつなぐ、善意のバケツリレーです。